

2016年8月10日 山の日記念セミナー（日比谷図書文化館）

これでわかる木材デューデリジェンス～違法リスクの調べ方

5月に合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律（通称：クリーンウッド法）が成立し、1年後の施行に向けて省令など関連法令が今後整備されていきます。同法は違法伐採木材を日本の市場から駆逐することを目指して制定されたもので、任意の登録制度を通じて、木材関連事業者が「木材デューデリジェンス（DD）」を実施していくことが期待されています。

今回のセミナーでは、日本に先行して違法伐採木材の取引を禁じる法律が運用され、DDの実践例が豊富にあるEU（欧州連合）と米国から講師をお招きし、特に合板と紙に焦点をあてて木材DDの先行事例を学びます。「木材の違法リスクをどう評価すればいいのか？」「実効性のあるDDの基準のレベルは？」「企業にとって実行可能なDDのポイントは？」など木材DDに関わる疑問へのヒントを提供し、あわせて新法に基づく日本の制度のあり方を検討する機会としたいと思います。

プログラム

- 12:30 開会 司会進行：坂本有希（地球・人間環境フォーラム）
- 12:35 講演 合法木材調達のためのデューデリジェンス
（キップ・ヒューレット／米国広葉樹合板ベニア協会代表）
- 講演 デューデリジェンスの実施でサプライチェーンから効果的に
リスクを排除できる
（マイク・ウオーレル／英国木材貿易連盟 政策・持続可能性部部長）
- 14:40 休憩、質問表の配布
- 14:55 講演 違法木材取引の規制：法執行の動向
（ジェイド・サンダース／NGO フォレスト・トレンド上級政策分析官）
- 講演 製紙業界の違法伐採対策 DD システムについて
（上河潔／日本製紙連合会常務理事）
- 15:55 全体質疑応答・ディスカッション
- 16:30 閉会

主催・問い合わせ先

地球・人間環境フォーラム 飯沼、坂本 （TEL: 03-5825-9735）
国際環境 NGO FoE Japan 岸田、三柴 （TEL: 03-6907-7217）

※セミナー資料等は後日 WEB にて公開します >> <https://www.fairwood.jp/>

講演者

キップ・ハウレット氏 米国広葉樹合板ベニア協会（HPVA）代表

C.T. “Kip” Howlett Jr. President, Hardwood Plywood & Veneer Association

HPVA は、広葉樹合板、ベニヤ、床材とそのバリューチェーンに含まれるサプライヤー、流通業者、および製造業者など、北アメリカのメーカーをとりまとめる業界団体である。業界のための国家コンセンサス基準の遵守等への対応、製品試験と認証サービスを提供する。

ハウレット氏は、過去 11 年間、塩素化学工業協会の米国化学工業協会の副社長兼エグゼクティブ・ディレクターを務めてきた。その前には、ジョージア・パシフィックにて、環境と政府関連部署の副代表を含む様々な役職を 19 年にもわたり経験してきた。オレゴン州セーラムにある法律のウィラメット大学から法学博士とボルチモアメリーランド州ジョンズホプキンス大学から学士の学位を持つ弁護士。

マイク・ウオーレル氏 英国木材貿易連盟（TTF）政策・持続可能性部部長

Mike Worrell Head of Policy & Sustainability, Timber Trade Federation

英国木材貿易連盟（TTF）の政策・持続可能性部門の責任者として、会員企業が遵守を求められるデューデリジェンスシステムである「責任ある調達方針」の実施に携わっている。また EU 木材規則（EUTR）や FLEGT 等の政策について政府との連携、市民社会とのより強い関係づくり、海外の取引先へのアウトリーチ活動などの役割も担っている。TTF に移る前の 7 年間は英国ビジネス・イノベーション・技能省に勤め、最後の 3 年間は EUTR 担当官として合板プロジェクトなど英国における EUTR の執行を取り仕切ると同時に、EU レベルでの執行の連携にも注力した。2008 年ケント大学（社会学、特に食糧・環境政策）卒業。

ジェイド・サンダース氏 NGO フォレスト・トレンド上級政策分析官

Jade Saunders Senior Policy Analyst, Forest Trade and Finance Program

2002 年よりチャタムハウス（英国王立国際問題研究所）エネルギー・環境・開発プログラム アソシエイト・フェローとして特に森林ガバナンスに注力している。2007～2010 年までは欧州林業研究所（EFI）の FLEGT ファシリティの政策分析官として、EU（欧州連合）の実施する FLEGT-VPA（二国間協定）の交渉・実施、特にガバナンスと貿易問題における政策分析や戦略的アドバイスを行った。また、繊維業界のサプライチェーン、水産資源、オゾン層破壊物質の違法取引など森林・木材以外の分野での環境／開発／貿易問題にも従事してきた。ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン（UCL）社会文化人類学修士。

上河 潔氏 日本製紙連合会常務理事

Kiyoshi Kamikawa Executive Director, Japan Paper Association

1997 年に農林水産省入省し、経済局国際部、林野庁林政部や建設省住宅局、衆議院農林水産委員会調査室、環境庁自然保護局、宮崎県林務部長を経て、現職。JICA 海外長期研修員の経験も持つ。

東京大学農学部卒、カリフォルニア大学バークレー校修士課程修了（M.S. in Wildland Resource Science）。

主催団体

FoE Japan

FoE Japan は、世界 74 カ国にメンバーを有する草の根環境 NGO のネットワーク団体、FoE インターナショナルの日本のメンバー。気候変動・エネルギー、森林保全、開発金融のモニタリングなど、日本の経済社会活動が他の国々へ及ぼす負の影響を軽減する活動に取り組んでいます。

地球・人間環境フォーラム

地球・人間環境フォーラムは、地球環境問題に関する科学的調査・研究、その成果の普及・啓発、政策提言等に取り組む非営利団体。行政、企業、NPO・NGO、メディア等との連携・ネットワークづくりを進めながら、分野横断的に取り組んでいます。